

# 再評価結果（平成16年度 事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

<b>事業名</b> 一般国道259号 植田バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 愛知県
<b>起終点</b> 自：愛知県 豊橋市 杉山町 至：愛知県 豊橋市 磯辺下地町		<b>延長</b> 5.1 km
<b>事業概要</b> 一般国道259号は、三重県鳥羽市を起点として渥美半島を縦断して愛知県豊橋市に至る延長70kmの幹線道路である。豊橋市郊外部は幅員8.5mと狭い区間があり、朝夕及び観光シーズンには慢性的な交通渋滞が発生しているため、植田バイパスはこうした交通需要に対処するため計画された延長約5.1kmの4車線道路である。		
S49年度事業化	S39年度都市計画決定 (S45年度変更)	S49年度用地着手
		S52年度工事着手
<b>全体事業費</b>	約92億円	<b>事業進捗率</b> 86%
		<b>供用済延長</b> 3.9 km
<b>計画交通量</b>	27,000台/日	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 19.7 (残事業) 38.0	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 40/78 億円 〔事業費：32/69億円 維持管理費：9/9億円〕
		<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 1530/1530 億円 〔走行時間短縮便益：1473/1473億円 走行費用減少便益：42/42億円 交通事故減少便益：15/15億円〕
		<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（現道のバス路線の利便性が向上する） ・災害への備え（緊急輸送道路としての位置づけあり）他9項目に該当（定量的評価項目を含む）		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 当路線は、豊橋市と田原市を結ぶ主要幹線道路であり、国道23号豊橋バイパスの広域道路アクセスも期待されるため、豊橋市から早期整備促進を要望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 渥美半島は公共交通の利便性が悪く、移動には自動車に依存する傾向にあり、現在でも交通量は増加傾向にある。特に、臨海部の工業地帯へのアクセス道である国道259号などはピーク時の交通渋滞が問題となっている。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまでには、用地取得等において地権者との調整に時間を要することもあったが、これまでに約76%の区間が供用されており、残された未供用区間についての問題は少なく、計画とおりに事業を進めることが可能と考えられる。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 特に阻害要因も無く、完了に向け計画的に事業を進める予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生材、二次製品等の活用などによりコストの縮減を図っている。		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。